

バイオベンチャー企業の Delta-Fly Pharma 社へ出資

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫)は、2018年3月23日に、新規抗がん剤を開発するバイオベンチャー企業である Delta-Fly Pharma 株式会社(本社:徳島市、社長:江島清、以下「DFP 社」)の第三者割当増資を引き受けました。また、2018年3月28日、当社は DFP 社と共同開発契約を締結しました。

DFP 社は、患者の身体的・経済的負担が少ない抗がん剤の実用化を進めているバイオベンチャー企業で、ドラッグデリバリーシステムを用いた新規抗がん剤の開発に注力しています。当社と DFP 社は、DFP 社が保有するドラッグデリバリーシステム技術と、当社の保有する高分子技術を融合させた副作用の少ない新規抗がん剤の開発を進めており、この開発をさらに加速すべく、このたび協力体制を強化しました。本共同開発の成果物の第一弾は、米国において本年中に臨床試験に入る予定です。

当社は2017年4月にバイオ・メディカル事業本部を設置し、バイオ・メディカル分野での事業拡大のスピードアップを図っており、今回の出資、共同開発もその一環です。当社では、今後も既存ビジネスの枠を超え、ドラッグデリバリーシステムをはじめとした新たな事業を展開していきます。

<Delta-Fly Pharma 社の概要>

徳島市に本社を置く Delta-Fly Pharma 株式会社は、Module 創薬を技術基盤とするバイオベンチャー企業です。がん細胞の代謝の特異性を活用した新薬を開発する目的で、今回、機能性材料の開発、製造販売を業とする当社との共同開発に至りました。

社名	Delta-Fly Pharma 株式会社
代表取締役社長	江島 清
所在地	徳島県徳島市川内町宮島錦野 37 番地の 5
設立	2010 年 12 月 6 日
資本金	9 億 6,750 万円
事業内容	がん患者に優しい新規抗がん剤の開発

<ドラッグデリバリーシステムとは>

薬は、投薬しても患部まで十分に届かず効果が少ない場合や、必要のない部位に作用し副作用を引き起こす場合があります。これを改善する技術がドラッグデリバリーシステム(Drug Delivery System, DDS)であり、薬物の有効成分を体内の適切な部位に選択的に運ぶものです。DDS を用いることによって、以下のような効果が期待されます。

- ① 有効成分が適切な部位に選択的に働くため、投与量を削減できます。または、投与量を増やして効果を上げることが可能です。
- ② 有効成分が必要のない部位では作用しないため、抗がん剤など副作用の強いものにおいては、副作用の抑制が期待できます。そのため、投与量を増やして効果を上げることが可能です。
- ③ 上記①②のように、投薬量を自由に調整したり、投薬回数を削減することができ、また副作用による患者の苦痛を減らすことができるため、患者の QOL (quality of life) 向上に貢献できます。
- ④ 投薬量を自由に調整したり、投薬回数を削減することが可能なため、治療の利便性が上がり、医療従事者の負担も軽減できます。
- ⑤ 副作用のために開発を断念した薬物についても、DDS を適用することで開発を継続することが期待できます。
- ⑥ 投与量・回数の低減により、医療費を抑えることができます。

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社 広報部

電話 075-541-4312